



チューモくん日記 #アプリの話～信GO!～

秋田県立視覚支援学校オリジナルキャラクターのチューモくんです。

このシリーズでは、本校の弱視職員から聞いたスマホアプリの話を紹介していきます。今回は、ニムラさんとミヨシさん（いずれも仮名）に聞きました。

今回は、歩行者信号の色を確認できるアプリの話題です。

「信GO!」は、警察庁が推進する「歩行者等支援情報通信システム」（高度化P I C S）機器が設置された交差点で、歩行者用信号の灯色を音声や、振動などで確認することができるスマートフォン向けのアプリです。

できることは、

- ①装置が設置された交差点に近付くと、音声や振動などで交差点に接近したことを通知する。
- ②音声や振動、画面表示で、歩行者用信号の色を確認する。
- ③青信号の残り時間、青信号までの待ち時間を確認する。
- ④青信号を延長するボタンが付いている交差点で、延長要求操作をする。
- ⑤利用者が自分で認識しやすいように、交差点の名称や方向名を書き換える。

高度化P I C Sは、2020年4月から一般道に設置が始まり、秋田県内では、2023年9月に、秋田市山王の県社会福祉会館前の交差点に高度化P I C S機器が設置されました。県内で「信GO!」を利用できる交差点は、現在の所、1箇所のみです。

チューモくん：秋田市山王の交差点の信号機が、「信GO!」に対応するようになって5ヶ月経ちましたが、皆さんの利用状況はどうですか？

ミヨシ：使えるところが1箇所しかないなので、僕は使っていません。OKOなら、どの信号でも使えるので、それで足りています。

ニムラ：OKOは正規版になってから、信号の色をしゃべるようになったし、私が使

っているアプリでは、Eye Naviでも信号の色が分かるので、「信GO!」は使っていないね。

※OKOとEye Naviについては、以前の記事を参照してください。

チューモくん：今のところ、皆さんには、あまりメリットがないということですか？

ニムラ：普段、渡り慣れている、社会福祉会館前の交差点だから、「信GO!」の機能がなくても大丈夫なんだよね。かえってシンプルなアプリの方が便利。ただ、知らないところを歩くときに、「信GO!」対応の信号機があると便利だと思う。

チューモくん：ということは、もっとあちこちに「歩行者等支援情報通信システム」設置されたら、使う機会が増えるかもしれないということですか？

ミヨシ：そうですね。

ニムラ：駅周辺とか、市役所周辺とか、もっと増えるといいんだけど。

チューモくん：なるほど。早く、あちこちの交差点が対応するようになるとうれしいですね。

